

お隣さん「いやーありがとね○○君。最近運動不足で重いもの持つの大変でさー!」

自分「いえ、俺も丁度バイト帰りなんで全然大丈夫です!（お隣の美人人妻さんと一緒に帰れるとかラッキー!）」  
佐藤さん「そう?・本当助かる〜。」

自分「旦那さんはお仕事ですか?」

佐藤さん「そうなのー。しかも出張でしばらく帰ってこないのよねー…そうだ!よかったら○○君うちでごはん食べない?」

自分「え、いいんすか!?(やっぱ、こんな美人さんの手料理食えるとか最高かよ!）」

佐藤さん「もちろん!今日のお礼もしたいし、最近一人でごはん食べてたから誰かと食べたかったの!」





自分「(あやさんの中温かくてたまにぎゅって締め付けてくるのやばいッ、射精そうで腰動かせない……)」

佐藤さん「(〇〇君の童貞おチンポ、すっごく長く奥まで届いてる……どうしよう、おまんこいじる手止まらない……)」

ちゅっ♡

あ♡

ヌチっ♡

ん♡

ふ♡

っ♡

ん♡

い♡

ん♡

ヌプ♡

クチュ♡

ニユル♡

自分「(キスも舌めっちゃ絡みつけてきてすっげえ気持ちいい……)」

佐藤さん「(〇〇君シタことないっていうから練習とか言ってノリでシちゃったけど私もう久しぶりで動いてないのにイクの止まんない……)」

ちゅっ♡

ん♡

♡

